

「江別市子どもが主役のまち宣言」について

1 概 要

江別市では、今年度から新しくスタートした市の総合計画において、「子どもの笑顔があふれるまち」を目指すこと、また「子どもが主役のまちをつくる」ことを掲げている。

これからのまちづくりのためには、大人たちが未来を担う子どもたちの幸せを第一に考えていくこと、またそれをまち全体で共有していることが大切であり、市政施行70周年を迎えるこの節目の年に、江別の未来を担う子どもたちが、いつも笑顔でいられ、健やかに成長するまちを目指すための宣言を行うもの。

2 経 過

令和6年	4月	子どもの意見集約（市内の小中高等学校）
	7月 8日	江別市子ども・子育て会議（協議1回目）
	8月 7日	江別市子ども・子育て会議（協議2回目）
	8月27日	江別市子ども・子育て会議（協議3回目）
	9月10日～10月10日	市民意見公募（パブリックコメント）実施 （結果：10人、10件の意見）
	10月29日	江別市子ども・子育て会議（協議4回目）
	11月20日	宣言の発表

3 内 容

子どもの幸せを第一に、子どもの自己肯定感や子ども自身の育つ力も大切にしながら、子どもにとって最善の利益を考える「子どもが主役のまち」を目指すために、4つの基本姿勢を掲げるもの。

- ①子どもを権利の主体として尊重し、意見をまちづくりに反映する
- ②子どもが自ら育つ力を発揮できるような環境づくりに取り組む
- ③子どもを育てる大人も笑顔になれるような子育て支援に取り組む
- ④地域ぐるみで子どもの成長を支えていく

4 期待する効果（ねらい）

宣言を市民が広く共有し、まち全体で、子どもを守り育てるという目的の共有化を図り、応援する意識や雰囲気づくりを醸成し、地域一体となって実践できるまちの実現を目指すもの。

5 今 後

- ・広報えべつ（1月号）で、市民へ周知する。
- ・子ども向けに分かりやすい形で宣言の内容を学べるよう、学校などと協力して広めていく。

6 「江別市子どもが主役のまち宣言」及び「宣言の解説」

別紙のとおり

江別市子どもが主役のまち宣言

未来を担う子どもたちは、江別の宝です。

すべての子どもたちが、いつも幸せを感じ、未来への夢や目標を抱くことができるまちづくりは、江別市民すべての願いです。

すべての子どもたちには、安心して遊ぶ、食べる、ゆっくり眠るなど、色々な幸せがあります。それぞれが望む幸せを、いつも感じられることが大切です。

すべての子どもたちは、自分の意見や気持ちを表し、ありのままの自分を認められることで、自分らしく自信をもって自己を形成していきます。

すべての子どもたちが、健やかに育ち、学び、笑顔で暮らせるよう、私たちは、子どもの幸せを第一に、子どもにとって最も良いことを考える、子どもが主役のまちを目指すことを、ここに宣言します。

- 一 子ども一人ひとりがかけがえのない存在です。大人は、子どもそれぞれの人格や個性を大切にします。また、子どもたちの意見に耳を傾け、その意見をまちづくりに反映します。
- 一 子どもが自らの育つ力を十分に発揮できるよう、いじめや虐待などがなく、安心できる環境で、健やかに遊び、学ぶことができるまちづくりに取り組みます。
- 一 子どもを育てる大人も笑顔でいられるよう、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを進めます。
- 一 家庭や学校だけでなく、地域社会全体で、子どもの健やかな成長を支え、応援します。

令和6年11月20日

江別市長 後 藤 好 人

＜宣言の解説＞

前文では、江別市が「子どもは幸せであるべき存在」ということを共通認識として持ち、その子どもの幸せを第一に考え、その子どもがいつも笑顔で、健やかに成長できるまちを目指すことを明確にしています。

また、宣言作成にあたり、「幸せだと思うときはどんなとき」というアンケートを子どもたちに実施しており、4,000件を超える回答の中で、たくさんの意見が寄せられた、「遊ぶ」こと、「食べる」こと、「眠る」ことなどを、子どもの願望として明示したほか、みんなに「褒められる」ことや、「認められる」ことなどを望む回答も多くあったことから、自己肯定感や、子ども自身が持つ育つ力を大切に考える考えも示しています。

そして、子どもの幸せを第一に、子どもにとって最善の利益を考える、すなわち、子どもが主役のまちを目指すことを宣言しています。

この「子どもが主役」とは、誰かが主役、誰かがわき役という意味ではありません。

子どもが、大人から守られるだけの存在でなく、子ども自身が権利をもつ主体であるという考えを大切にするために、「子どもが主役」という言葉を使っています。

続く4つの項目文では、子どもが健やかに育つまちを目指すために必要な「基本姿勢」を掲げています。

1つ目は、子どもの権利条約を踏まえ、子ども一人ひとりを権利の主体として尊重していくと同時に、子どもの意見をまちづくりに反映すること。

2つ目は、子ども自身が育つ力を持っていることを大切にしながら、その育ちを支援するための環境づくりやまちづくりに取り組むこと。

3つ目は、誰もが安心して子育てしていけるための環境の整備を進めること。

4つ目は、子どもの養育に直接携わる家庭や学校だけでなく、関係機関や地域住民など地域ぐるみで子どもの成長を支えていくこと。

今後、江別市が「子どもが主役のまち」を目指していくに当たっては、常にこの4つの観点を基本姿勢としながら、子ども関連の施策を進めていくこととなります。